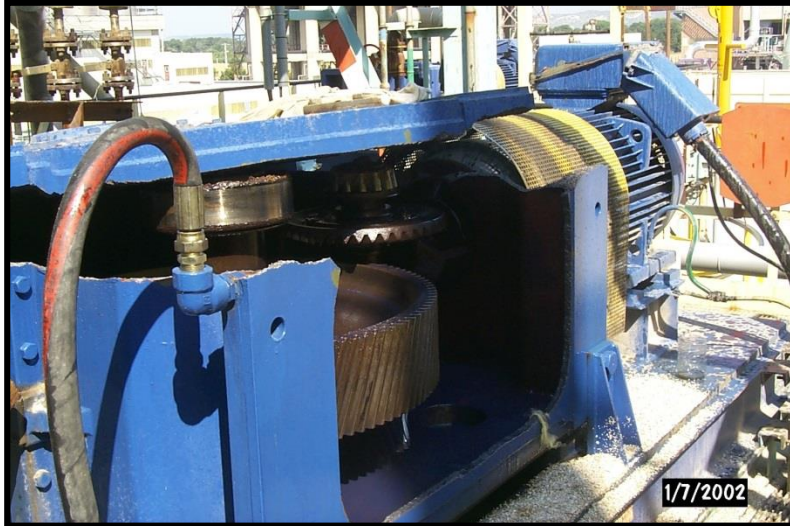


“名案”も悪い結果になり得る...



変更管理を無視した時には！

何が起きたか：

ある機械工がこの大きいギアボックスから油を排出していた。油の排出は非常に遅かったため、彼は油をより速く押し出すためにエアホースを繋ぐことで仕事を早めることを決めた。ご覧のような結果が起きるのに長くはかからなかった。鑄鉄製ギアボックスは砕けて、大きな破片が外れ床に吹き飛ばされた。幸いなことに誰も負傷しなかった。

何故こうなったのか？

- ギアボックスは圧力容器ではなかった
- 排気できる量以上の空気が加えられたために圧力が上昇した。
- 変更を検討するにあたってMOC(変更管理手順)を用いなかった。

あなたにできること

- 化学プラント内の多くの機器は耐圧設計されていない。機器台帳をチェックしてもASMEのコードスタンプが無い場合は、耐圧規格品ではないと見なすこと。
- ギアボックスへの空気吹き込みは変更であり、事業所のMOC(変更管理)手続きでチェックされるべきであった。
- 安全ではないかもしれない微妙な変更にも用心すること。

なすべきであったこと：



良いアイデアは日ごとに操作を改善し危険を減少する。しかし良いアイデアを実行する前に、その変更が新たな危険源やリスクを作業現場に持ち込まないかどうか見極めることが絶対必要である。この事故では機械工は彼が実施しようとしていたのは“変更管理に該当する”ことであると認識すべきであり、変更をMOCプロセスを経て見直すべきであった。こうすればギアボックスが耐圧設計でなかったことが確認されていたであろう。

圧力下では全てがうまくいくとは限らない。ユーティリティのホース繋ぎには注意を！